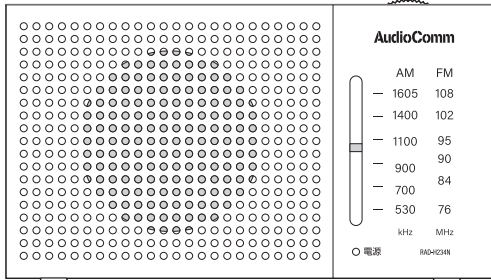


AM/FMハンディラジオ

型番：RAD-H234N-W 品番：03-7053
RAD-H234N-K 03-7054



このたびは、AudioComm® AM/FMハンディラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じる場合がありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

主な仕様

電源	DC3V 単3形乾電池×2本(別売)
受信周波数	AM:530~1605kHz FM:76~108MHz
スピーカー	口径50mm×1(8Ω)
乾電池持続時間	スピーカー時 AM受信:約31時間 FM受信:約32時間 イヤホン時 AM受信:約73時間 FM受信:約75時間
アンテナ	AM:フェライトバーアンテナ(内蔵) FM:ロッドアンテナ
イヤホン端子	φ3.5mmモノラルミニジャック
外形寸法	幅125×高さ70×奥行39mm(突起物含まず)
質量	約165.5g(乾電池含まず)
付属品	保証書、取扱説明書

※乾電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用時(音量中程度)の目安です。使用状況により異なります。 ※外觀、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。 ※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる可能性があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。正しく安全にお使いください。



警告

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。想定される内容です。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常を感知したら、すぐに乾電池を取り外す
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 分解、修理、改造しない
 - ・火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機に触れない
 - ・感電するおそれがあります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
 - ・交通事故の原因となります。
 - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
 - ・発熱、発火、故障の原因となります。
- 火の中に入れない
 - ・誤って火中に入れると、乾電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様やペットが乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
 - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性があります。想定される内容です。

- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる
 - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使わない
 - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない
 - ・周囲の迷惑になったり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 浴室、台所など湿気が多い場所や水飛沫のある場所では使わない
 - ・感電や故障の原因となります。
- ぬれた手で操作しない
 - ・故障や感電の原因となることがあります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない
 - ・破損・故障の原因となります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
 - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
 - ・落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。
- 落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
 - ・故障や破損の原因となることがあります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない
 - ・変形・変色の原因となります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
 - ・火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

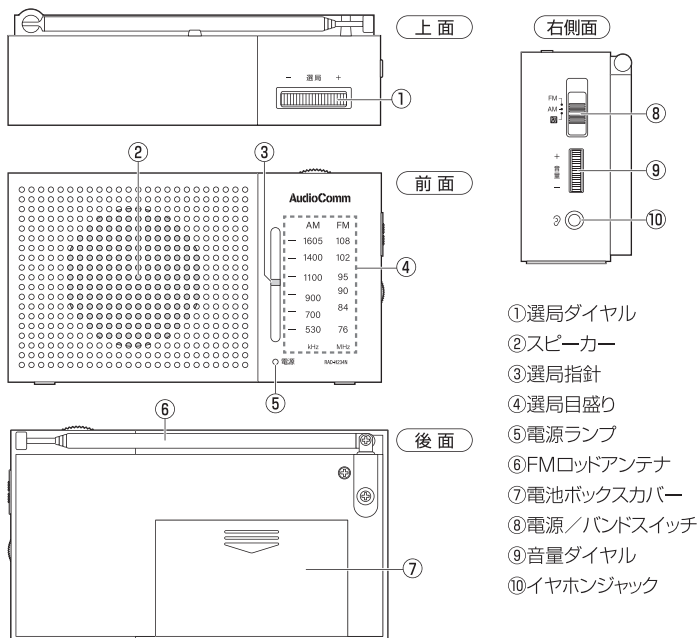


注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

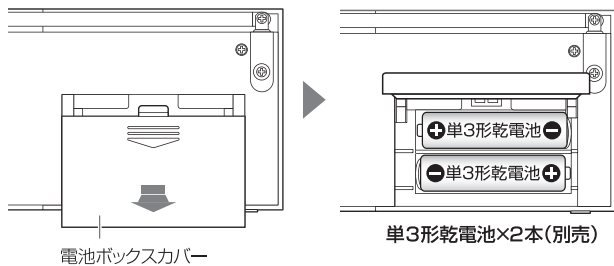
- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称



乾電池の入れかた

- 電池ボックスカバーの 部を押しながら、下にスライドさせた後に持ち上げ、電池ふたを開けます。
- 単3形乾電池×2本(別売)を、 の向きに注意しながら正しく入れます。コイルバネのあるほうがです。側から先に入れてください。
- 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。

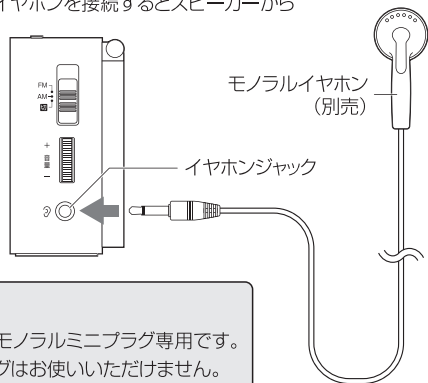


ご注意

- 長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。
- 乾電池の残量が少なくなると、音量が小さくなる、雑音が増える、電源ランプの明るさが暗くなるなどの症状が出ます。早めに新しい乾電池と交換してください。

イヤホンで聴くときは

モノラルイヤホン(別売)のφ3.5mmミニプラグを本機のイヤホンジャックに差し込んでください。イヤホンを接続するとスピーカーからの音は聴こえなくなります。



ヒント

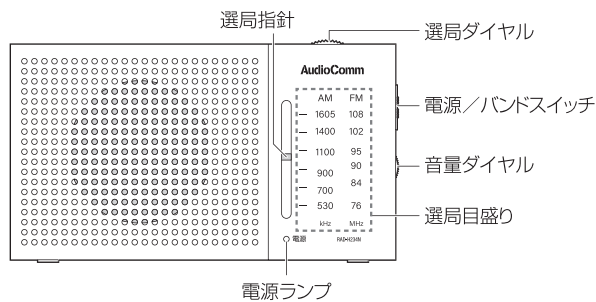
- 本機のイヤホンジャックはモノラルミニプラグ専用です。ステレオタイプのミニプラグはお使いいただけません。

ワイドFM(FM補完放送)について

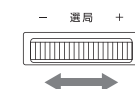
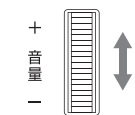
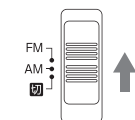
ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

ラジオを聴く

突然大きな音が出るのを防ぐため、電源を入れる前に音量を最小にしてください。

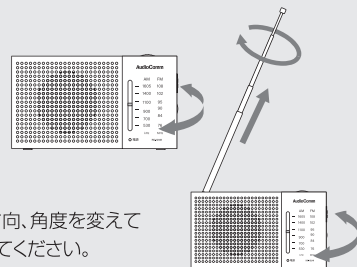


- 電源/バンドスイッチをお聴きになりたいバンド(AMまたはFM)に合わせます。電源が入り、電源ランプが点灯します。
- 音量ダイヤルを回して、耳に負担のない程度に音量を上げます。
- 選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。選局目盛りと選局指針を見ながら操作してください。
- 終了するときには、電源/バンドスイッチを「切」に合わせて電源を切ります。電源ランプが消灯します。



受信状態を良くするには

● AM放送の場合
本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



● FM放送の場合
FMロッドアンテナを伸ばし、本機の方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。
※持ち運びときは、目をついたりして危険ですのでFMロッドアンテナを縮めてください。

お手入れのしかた

お手入れを始める前に、必ず電源を切ってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- 乾電池が正しく入っていますか。の向きは正しいですか。
- 乾電池が消耗していませんか。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっていませんか。
- 電源が入っていますか。
- 正しく選局されていますか。
- 乾電池が消耗していませんか。

雑音が多い/音が悪い

- 乾電池が消耗していませんか。
- 近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。
- テレビや蛍光灯の近くで受信していませんか(テレビや蛍光灯から離してください)。